

北見市のNPO法人人材育成ネットワーク(上野栄一理事長)が北見メッセ(中央三輪5)の事務所に、高齢者が簡単に操作できるよう設計された「VOVIT」システムを試験的に導入した。タッチパネル式のパソコンで手書きのメール送信やテレビ電話ができ、高齢者の交流や安否確認に活用することを目指している。

(長谷川裕紀)

簡単メールで 交流広げて

VOVITシステムは情報環境デザイン研究所(東京)が高齢者向けに開発。キーボードやマウスは使わない。画面上のアイコンを大きくして複雑な機能を省き、パソコンに慣れていない高齢者にも利用しやすくした。

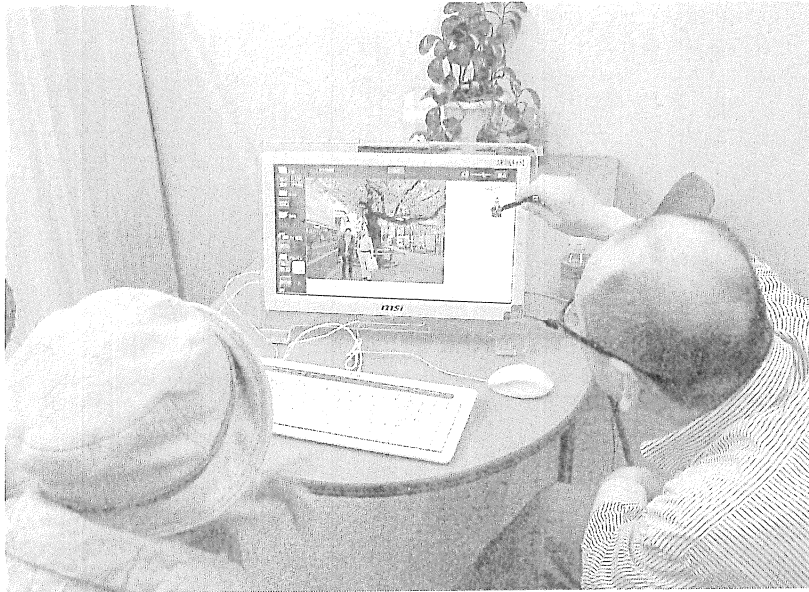
昨年12月、今年2月、東京都江戸川区の集合住宅で高齢者10人が導入した。サポート役が定期的な連絡をとり、メンバークラスを飲んでいくかをチェックするなどした。システムの活用を推進しているシニア社会学会の堀池喜一郎理事は「高齢者のネットワークづくりを後押ししたい」と話している。

2月27日に人材育成ネットワークの事務所で行ったデモンストレーションには市内の高齢者2人が参加。北見市の富田美和子さん(73)は「カラフルに絵を描くようにメールができたのに驚いた」。

高齢者向けシステム 北見のNPO法人が試験導入

人ではないという安心感も出てくるのでは」と話していた。人材育成ネットワークは今までも高齢者向けのパソコン講座を開いており、上野理事長は「システムを体験して希望する高齢者がいれば導入をサポートしていきたい」と話している。

安否確認にも活用



「VOVIT」システムの操作法を学ぶ高齢者



朝ごはんの大切さを学んだ料理教室

地場産食材で朝ごはん作り
親子料理教室
【上士幌】十勝管内
上士幌町教委主催の親子朝ごはん料理教室が

町ふれあいプラザで開かれ、小学1〜4年の児童と保護者ら15人が朝ごはん作りに挑戦した。

栄養士3人を講師に招き、2月26日に初めて実施した。まず、町給食センターの沢井雅代さんが紙芝居や料理写真を使い、理想の朝ごはんは栄養バランスを分かりやすく説明。続いて、空知管内由仁町が製作した「はやねはやおきあさごはん」の音楽CDに合わせて楽しく体操し、3班に分かれて調理に入った。

子供たちは、JA上士幌町が提供した地場産ジャガイモやゴボウなどを切り、1時間半かけてサケのおにぎりや貝だくさんのみそ汁、卵焼きを作り上げた。

ジャークチキン

ROOTS(北見市)

塩と黒コショウ、タ イマ、ねぎ、ニンニク、ピーマン(46)と妻のデ ショウガなどで味付け イビス・マユミさん



ツドストライプがジャークチキンに良く合 曜定休。 ☎0157・

火 61・1060

▼樺太真田 股地区にゆか

つと



津別小1年1組

担任・上田恵理子先生



気温(℃) 最高 最低 5時 18時 21時